

事業所名		からふるしーど				支援プログラム（参考様式）				作成日		2024	年	12	月	20	日	
法人（事業所）理念		我々が成長し、進み続ける背中を魅せることが、子どもたちの「未来」を創る。																
支援方針		放課後及び学校休日の時間に、生活スキル・社会性等向上等の個々に必要な訓練を行い、個別及び集団における支援を行います。 人間が生まれながらに持つ力を引き出すため、脳科学に基づいた支援プログラムとし、児童の特性に応じて応用行動分析学、認知行動学を支援技術として実践しています。																
営業時間			10	時		0	分から		19	時		0	分まで	送迎実施の有無		あり なし		
		支 援 内 容																
本人支援	健康・生活	食事や排せつ、衣類の着脱、みだしなみ、清掃や片付けなど、健康的で社会的な生活を送るためのスキルアップや習慣化を支援します。職員の介入なく、自発的に行動できることを目指したサポートを行うと同時に、時間や空間にかかわらず行うことができるよう、般化を進めていきます。																
	運動・感覚	毎日の時間割に、集団活動を設定し、日替わりで体を使った活動や工作などの指先を使った活動を行い、触覚、視覚、聴覚の発育を促します。 姿勢保持や筋力の維持強化を図り、児童毎のカリキュラムにおいては、歩行訓練や作業訓練を実施します。 運動や動作にサポートが必要場合は補助等を行い、より自立した日常生活のために必要なスキル獲得のための支援を行います。 長期休暇や土曜祝日など、時間の確保が可能な場合は、公園や体育館でのスポーツ活動、近隣高校体育館での高校生とのレクリエーション活動（月1回程度）を実施します。																
	認知・行動	応用行動分析学（ＡＢＡ）に基づいて、構造化や視覚支援を実施します。 事業所内でのルールや、その日の活動について、文字だけでなく、記号やイラストにより感覚的に理解しやすいカードや掲示物などを用いて、児童が情報を適切に処理できるよう支援します。また、社会性や、生活面の行動に介入が必要な場合、三項随伴性に沿って、事前予防や行動変容への介入支援を行います。 また、時間割やチャイムを活用し、時計の読取・理解による集団生活における時間管理を行えるよう支援します。																
	言語コミュニケーション	各児童の発達状況や特性に応じて課題を設定し、読み書きやコミュニケーションスキルの向上を図ります。 バーバルコミュニケーション（言葉や文字を用いた意思伝達）にとどまらず、児童の発達に応じて、非言語により意思を伝え、双方向のコミュニケーションを実践できるよう支援します。 ＰＥＣＳでのサポート技術の訓練を受けた資格者が、絵カードやハンドサイン等によるノンバーバルコミュニケーションのスキルを反復トレーニングします。 また、集団活動等において、不適切な言葉や表現方法が見られる場合は、ＡＢＡに沿って介入支援を行い、その場に応じたより適切な言語行動ができるよう支援します。																
	人間関係社会性	日々の集団活動において、ソーシャルスキルトレーニングを活動の中に取り入れ、事例を通した社会性のスキル獲得を目指します。 また、遊びや活動の中で、他者とのかわり方、役割、ルールなどの社会性を身に着けるための支援・介入を行います。 認識の相違や、情緒の不安定さにより、他者の言動を受容できない状況になっている場合、必要に応じてクールダウンを実施し、相談できる環境を創出します。 児童が安心して過ごせる環境を作るために双方がどのような改善を行えるのか、児童自身が考え導き出せるよう、傾聴・対話を行います。																
家族支援		児童毎の保護者専用ページを通して、その日ごとの活動の様子を共有します。また、通信アプリケーションを通して随時情報共有をするとともに、必要に応じた面談・相談及びペアレントトレーニングプログラムを実施し、ご家族の将来や生活での不安や困り事などをサポートします。								移行支援		学校や関連の医療・福祉施設と情報交換や担当者会議を行い、包括的に支援を行える環境を作り、支援します。 ライフステージに応じて、児童にとってよりよい選択ができるよう必要な連携や相談を実施します。						
地域支援・地域連携		近隣の高校や、事業所外の方々との交流や活動を行い、社会との共生を体験的に学ぶ機会を作ります。子どもたちの個性や能力が発揮され、地域からの理解に繋がる機会を創出します。								職員の質の向上		支援の質の向上、支援の統一化のため、全職員にＡＢＡセラピスト取得を奨励し、支援しています。 また、日々のミーティングにおいて、必要な研修（計画の共有、支援事例の共有、制度の理解、虐待防止、身体拘束、非常災害対策、感染対策等）を実施します。						
主な行事等		季節の行事（新春落語、節分、お花見、七夕、クリスマスなど） クッキング、社会見学、お祭りイベント、プール活動、芋掘り、買い物、 防災訓練（避難訓練、消火訓練、その他避難場所の確認等体験学習）																